

気仙沼市唐桑町大沢地区における復興の取り組み

気仙沼みらい計画大沢チーム
大沢地区防災集団移転促進事業期成同盟会
(現：大沢まちづくり協議会)

体制図

住民組織

- ・大沢地区防災集団移転促進事業期成同盟会
- ・大沢地区まちづくり協議会
- ・大沢小舟組合

行政

- ・気仙沼市 各部署
ー各種事業コンサルタント
- ・宮城県気仙沼市河川土木事務所

- ・合意意見の要望
 - ・意向の報告
- 
- ・各種事業の説明

- ・日常的な交流（意思疎通）
- ・集会では出ない悩みなどの共有

気仙沼みらい計画大沢チーム

- ・横浜市立大学
- ・神戸大学
- ・東北芸術工科大学
- ・武庫川女子大学
- ・宮城大学

- ・提案に対し意見
- 

- ・専門的な内容の意見交換
- 

- ・住民参加型WSの実施
- ・住民、行政の意見を基に提案の作成

大沢について

○震災以前

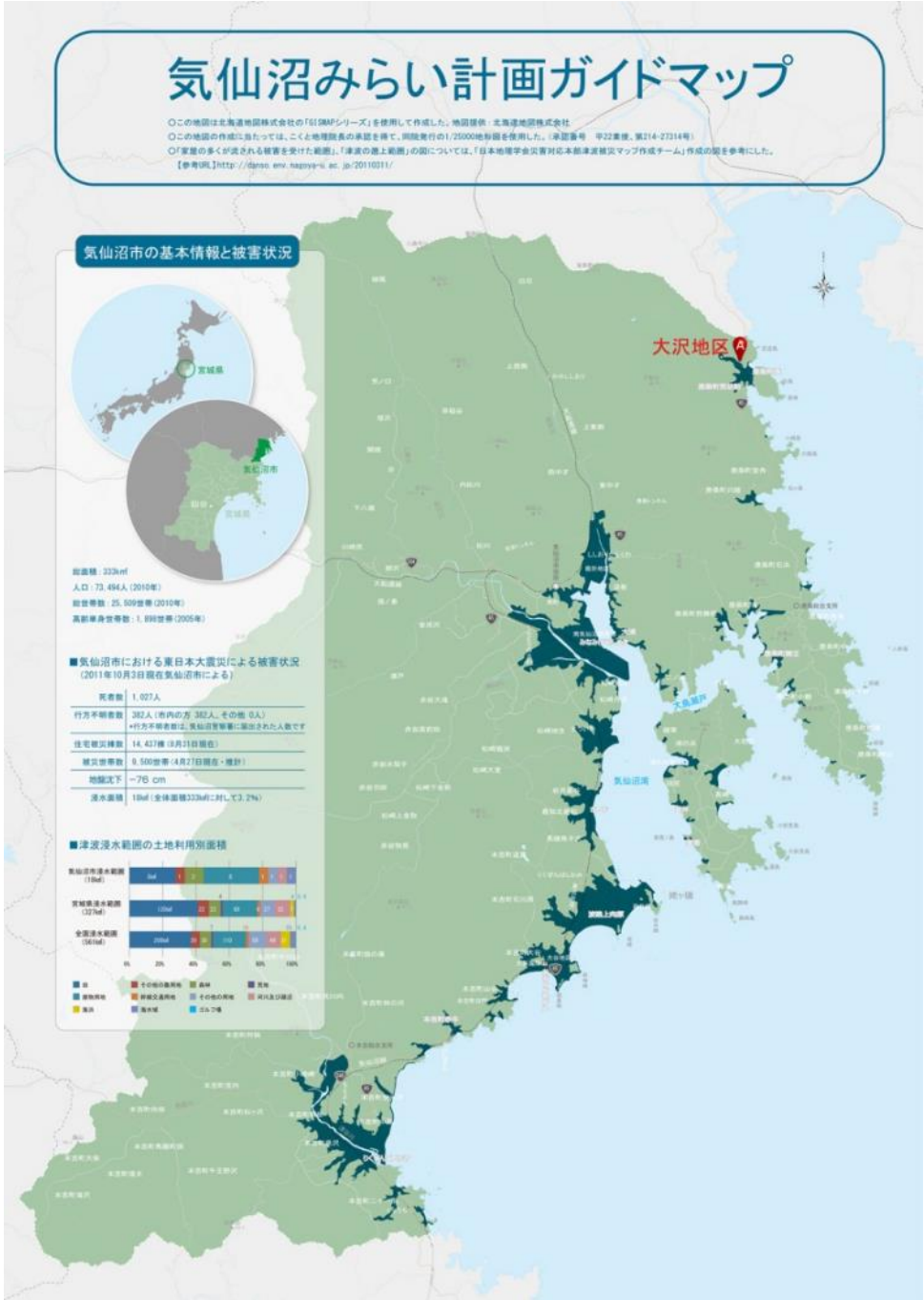
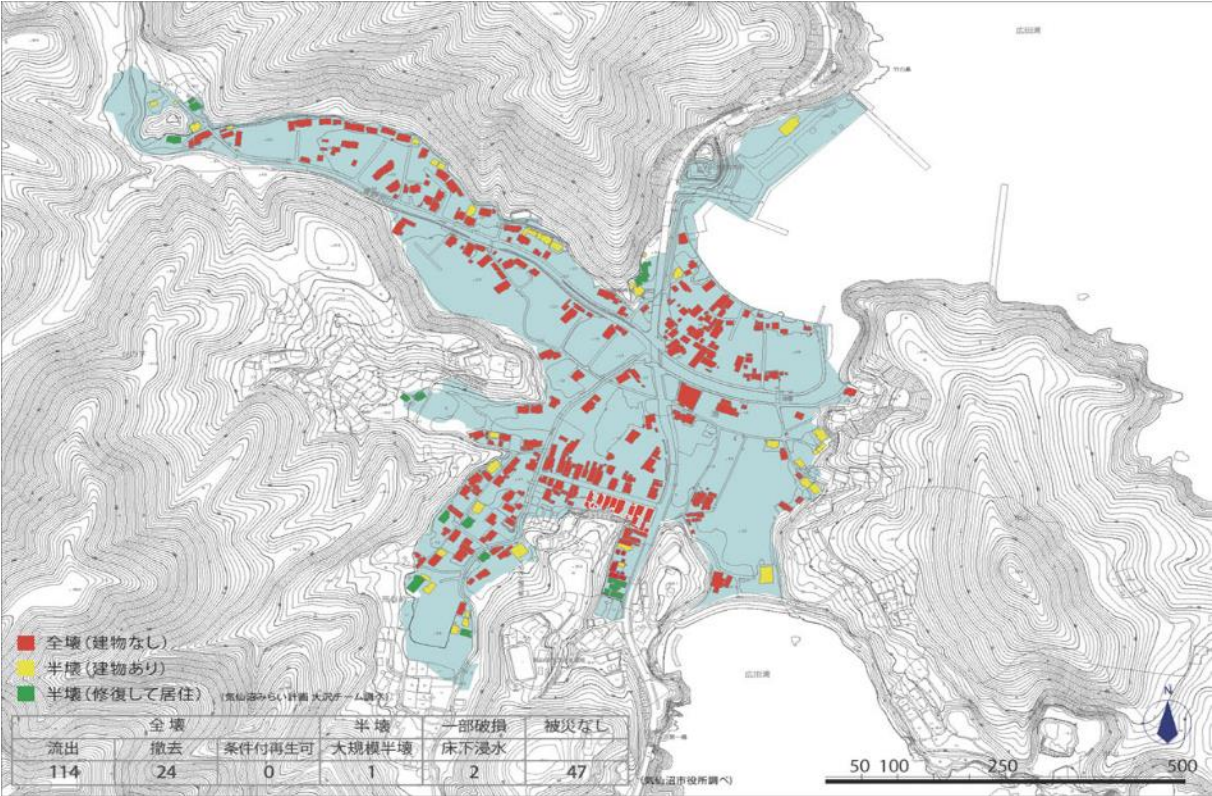
- ・ 人口664人
- ・ 世帯数186世帯

○2020年時点での地区内世帯数

- ・ 約130世帯

○被災状況

- ・ 全壊138戸
- ・ 半壊 1 戸
- ・ 集会施設の流失
- ・ スーパー流失



取り組みのポイント

復興支援の多様さ

- ・ 防災集団移転、居住地再建、浸水区域利活用、防潮堤など、多様な復興事業への住民意見集約
- ・ 教員：行政と住民の橋渡し／学生が中心：子供から年配者、被災していない住民らの巻き込み

復興事業や取り組みの実現度

- ・ 集団移転による空き区画がほとんどない＞ 47区画中2区画のみ
- ・ 住民意見の集約と計画への反映、コミュニティスペースの実現、ハード・ソフト両面からの支援

継続年数

- ・ 2011年8月から現在に至るまでおよそ月に1回程度のペースで活動を継続
- ・ 5大学の教員・学生（150名程度）が参画 ／ OBOGとの交流・組織の設立検討中

多様な復興支援メニュー

- 1 かえっぺす大沢さ
- 2 新たな生活の場づくり
- 3 集落空間の再編
- 4 コミュニティ拠点づくり
- 5 復興情報の共有
- 6 学生による交流活性化
- 7 高齢者にも優しい地区へ
- 8 地域の記憶の保存
- 9 学びあいの場としての地域
- 10 新しい絆の創造

防災集団移転 – 大沢みらい集会
造成計画・住宅再建支援
防潮堤・低平地 – まちづくり会議
大沢カフェ
大沢復興ニュース
大沢カエル教室
買い物弱者支援
大沢読本・模型・定点写真
9 学年で150人の学生
大沢クラブサポーター制度

年表 活動の軌跡



▲模型を囲んで話し合い



▲みらい集会の様子



▲2011年集合写真



▲ウッドデッキワークショップ



▲大沢カエル教室第一回



▲集会所竣工

2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020																						
3 東日本大震災発生	6 大沢地区防災集団移転促進事業 期成同盟会発足	8 記憶の街ワークショップ	10 気仙沼大沢みらい計画大沢チーム始動 第1回大沢みらい集会	4 大沢A・B地区 防災集団移転事業	7 第1回大沢まちづくり会議	10 第1回苗木ワークショップ	5 大沢カフェ建設開始	8 第1回住宅相談会開催	11 大沢復興ニュースが刊行、全戸配布	12 大沢カフェオープン	1 町歩きワークショップ	4 集会所候補地見学	6 第1回まちなみ懇談会開催	8 ピザ窯作り（大沢カエル教室）	10 B地区造成完了	3 A地区造成完了	4 コンテナアート（大沢カエル教室）	6 看板作り（大沢カエル教室）	8 沢フェス15（大沢カエル教室）開催	6 大沢復興事業進捗報告	8 沢フェス16（大沢カエル教室）開催	2 第1回カエル会議	3 慰霊碑除幕式	8 只越地区記憶のワークショップ 大沢読本座談会	9 集会所竣工	6 新大沢カフェ竣工	8 第1回メルカート	第2回メルカート	3 定点観測写真展	6 第3回メルカート	7 第4回メルカート



▲第一回記憶の街ワークショップ



▲聞き込みながら作りこむ様子



▲模型の詳細



▲コンテナアート



▲看板ワークショップ



▲沢フェス'15

多様な復興支援メニュー

- 1 **かえっぺす大沢さ**
- 2 新たな生活の場づくり
- 3 集落空間の再編
- 4 コミュニティ拠点づくり
- 5 復興情報の共有
- 6 学生による交流活性化
- 7 高齢者にも優しい地区へ
- 8 地域の記憶の保存
- 9 学びあいの場としての地域
- 10 新しい絆の創造

防災集団移転 **－大沢みらい集会**
造成計画・住宅再建支援
防潮堤・低平地 **－まちづくり会議**
大沢カフェ
大沢復興ニュース
大沢カエル教室
買い物弱者支援
大沢読本・模型・定点写真
9 学年で150人の学生
大沢クラブサポーター制度

復興まちづくりの枠組み (2011年10月より始動)



集会での議論の流れ

2011年3月～2012年4月

合意形成期

- ・ 模型を用いた震災前の街並み復元プロジェクト
- ・ 大臣同意に向けた移転地選定、移転戸数、造成計画、浸水区域の利用方針の検討
- ・ 2つの団地造成へ

2012年5月～2013年2月

造成計画検討期

- ・ 造成計画の原案を下に専門家チームがプランの提案を行い住民意見を吸い上げ
- ・ 戸建て住宅や公営住宅のモデルプランを提案
- ・ 緑道の整備など行政案に無いものもプランに反映

2013年3月～2015年4月

まちなみルール検討期

- ・ 隣地境界線や法面の処理方法などを話し合う場を作った
- ・ 建築ルールとして色彩や高さや緑化の制限などは行わなかったが壁面後退などの共通認識作りに繋がった

2014年5月～2015年8月

住宅再建・公園検討期

- ・ 共同購入による住宅再建に向けた取り組み
- ・ 公園と集会施設のプラン作成
- ・ 宅地引渡し、移転へ

第1回大沢みらい集会 2011/10/2

日時：

10月2日 小原木中学校体育館

参加住民：

大沢地区住民90人

内容：

今後の地区づくりにむけた余条件のヒアリング

- ① 3. 1 1 の出来事
- ② 震災前の地区の良い所
- ③ これからの大沢地区について

勵志なき者は帰れ!!

多様な復興支援メニュー

- 1 かえっぺす大沢さ
- 2 **新たな生活の場づくり**
- 3 集落空間の再編
- 4 コミュニティ拠点づくり
- 5 復興情報の共有
- 6 学生による交流活性化
- 7 高齢者にも優しい地区へ
- 8 地域の記憶の保存
- 9 学びあいの場としての地域
- 10 新しい絆の創造

防災集団移転 – 大沢みらい集会

造成計画・住宅再建支援

防潮堤・低平地 – まちづくり会議

大沢カフェ

大沢復興ニュース

大沢カエル教室

買い物弱者支援

大沢読本・模型・定点写真

9 学年で150人の学生

大沢クラブサポーター制度

第7回大沢みらい集会 2012/5/20

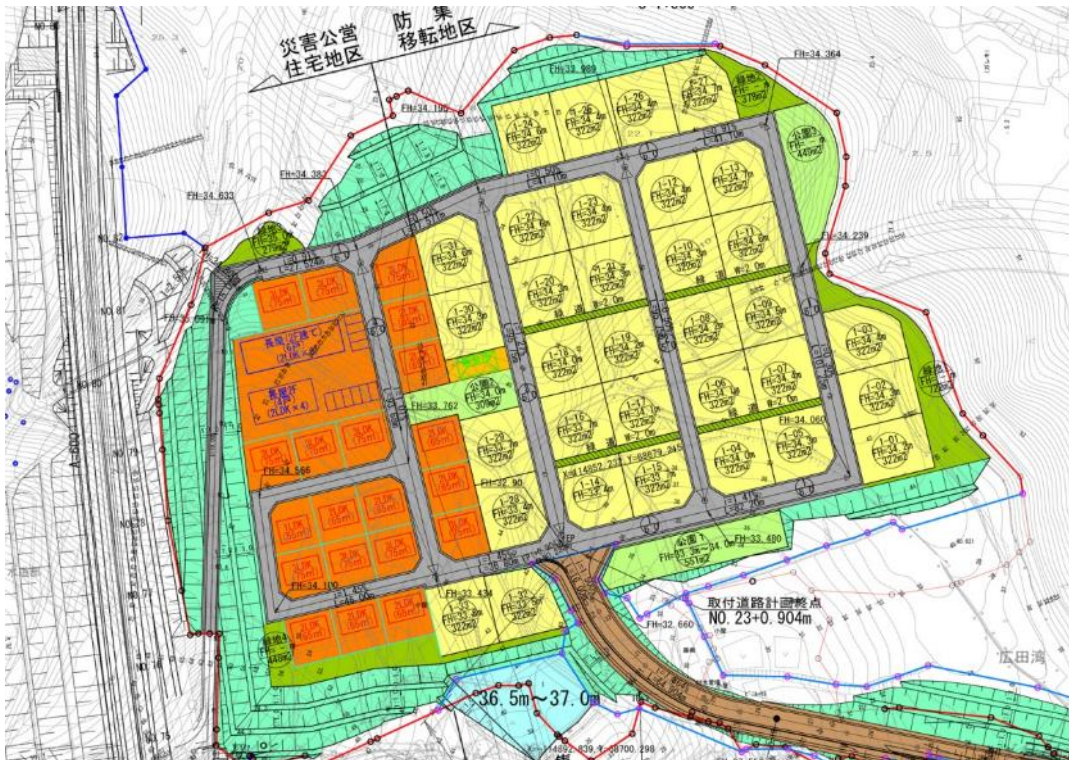
参加住民：
大沢地区住民71人

内容：
■造成計画の提案
■風景についての提案
■エネルギーについての提案

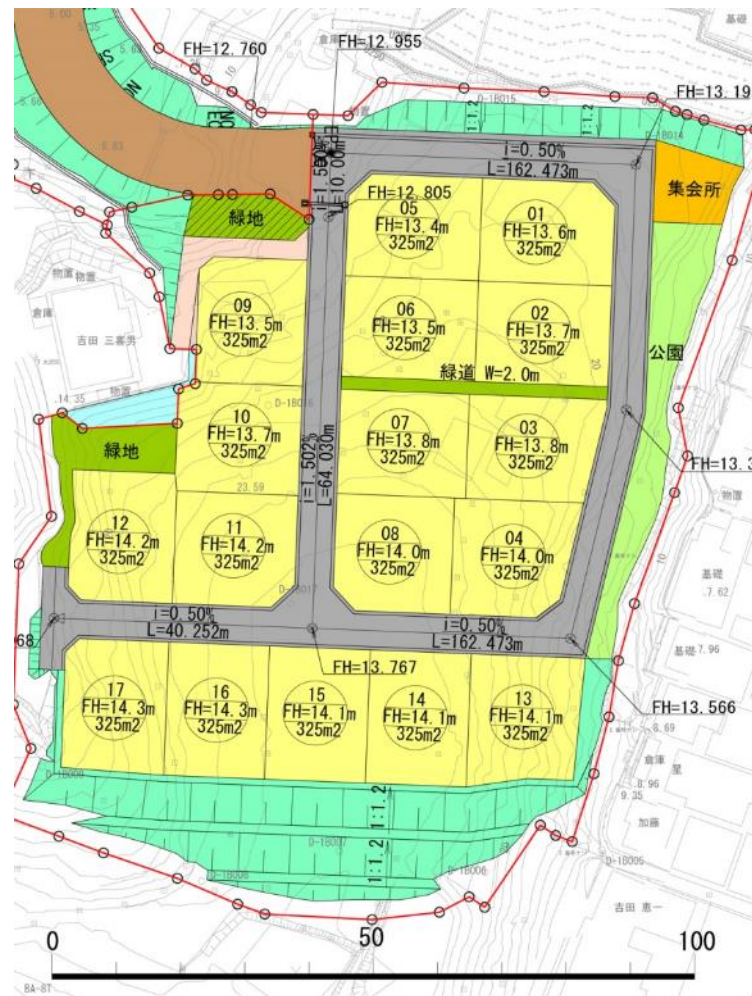


防災集団移転による高台計画案（2013年）

大沢地区における造成宅地割り
各宅地面積：約100坪
※緑道を設置するため敷地を削減
資料：気仙沼市



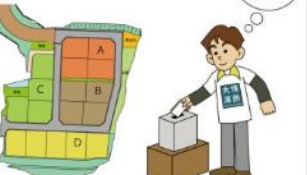
A地区



B地区

宅地抽選方法の検討（2013年）

－ 宅地の抽選方法事例 －

	1. 希望抽選方式	2. 従前居住エリア内抽選方式	3. 希望ゾーン抽選方式	4. 希望条件抽選方式	5. 順番決め抽選方式
概要	各世帯が希望する宅地を自由に選択し、希望が重複した場合は抽選を行い、調整する方式。	以前住んでいた位置や行政区を元に、いくつかのグループに分けて、そのグループごとに希望する宅地ゾーンを選択し、抽選を行う。その後、それぞれのグループ内で希望する宅地を選択し、希望が重複した場合は抽選を行い、調整する方式。	宅地を数か所のゾーンに分け、まず希望するゾーンを選択し、そのゾーン内に宅地数に見合う希望世帯数になるように抽選を行う。その後、それぞれのグループ内で希望する宅地を選択し、希望が重複した場合は抽選を行い、調整する方式。	宅地をいくつかの条件（角地や南接道など）によりグループに分け、希望条件の宅地数に見合う希望世帯数になるように抽選を行う。その後、それぞれのグループ内で希望する宅地を選択し、希望が重複した場合は抽選を行い、調整する方式。	宅地の選択を行う順番決めの抽選を行い、その順番に則って宅地決めを行う方式。 ※宅地の選択を行う順番決めの抽選の際、まず「順番決めのくじ」を引く『順番』を決める抽選を行う必要がある。
メリット	・単純明快な手法である。	・従前に住んでいた場所のお隣さん関係の復元に近い手法である。	・希望する位置（ゾーン）に入ることができれば、その範囲内で宅地を選択できる。	・希望する条件のグループに入ることができれば、どこかの宅地でも宅地そのものの条件は変わらない。	・順番に決まっていくので自分の好きな条件で決められる。 ・公平かつ単純明快である。
デメリット	・希望が重複し抽選した結果、外れた場合、自分が希望した宅地付近の宅地もすべて決定している可能性が高く、希望とは全く違う箇所の宅地にしか申し込みない可能性がある。	・希望できる場所が限定される。 ・従前に住んでいた場所と新しい宅地のゾーン分けが円滑に行えない恐れがある。 ・希望の宅地がグループ内にない可能性がある。	・あらかじめ設定する宅地ゾーン数とそのゾーンを希望する世帯数が合わせられない恐れがある。	・条件を設定する宅地数とその条件を希望する世帯数が合わせられない恐れがある。	・順番が後になると、元々希望していた場所が空いていない可能性がある。
特徴略図	◆個人で整理番号から希望宅地を選択する  ▲A地区の整理番号地図（仮）  ▲B地区の整理番号地図（仮）	◆従前居住エリア内でのグループでゾーンを選択する  ▲A地区のゾーン分け図（仮）  ▲B地区のゾーン分け図（仮）	◆個人で希望居住ゾーンを選択する  ▲A地区のゾーン分け図（仮）  ▲B地区のゾーン分け図（仮）	◆個人で希望宅地条件のゾーンを選択する  ▲A地区のゾーン分け図（仮）  ▲B地区のゾーン分け図（仮）	◆「くじを引く順番」を決め、「宅地を選ぶ順番を決めるくじ」を引く。 1. 「くじを引く順番」を決めるくじを引く  2. 「宅地を選ぶ順番」を決めるくじを引く  3. 順番通りに希望宅地を選択していく 

街並みの検討



◆公園

- ・屋外での気軽な交流のためにベンチや東屋が欲しい。
- ・緑（木や芝生）は欲しいが、なるべく手のかからない品種がいい。
- ・ゲートボールがしたい。
- ・ちょっとした遊具が欲しい。
- ・BBQの窯が欲しい。
- ・殺風景なのは嫌。
- ・子供達が遊べる場所が欲しい。
- ・桜の木を植えて花見ができるようにしたい。
- ・全部を芝にするのは管理が大変。
- ・歩くところはアスファルトで脇に植栽を植える。
- ・端に駐車場を置きたい。



部分舗装（自然石）



地被植栽（ノシバ）

◆緑地

- ・土の流出を防ぐために砂利や植栽を入れたい。
（木や芝生の場合はなるべく手の掛からないものがいい）
- ・風が強いので防風効果のある木を植えたい。
- ・芝生を敷きたいが、全面敷いてしまうと管理などが大変そう。
- ・防風林が必要なわけではない。
- ・駐車場が欲しい→舗装が必要。
 - ・全面舗装（砂利など）がいい。
 - ・植栽（草地化）がいい。
 - ・緑化ブロックがいい。
 - ・緑化ブロックは見た目はいいがつまずきそう。
 - ・舗装はせずに放置する。
- 来客用に10～20台のスペースが欲しい。



緑化ブロック



地被植栽（チガヤ）

◆緑道

- ・維持管理問題（草むしりするのは大変）
- ・普段の生活における使い勝手（乳母車を通るのに砂利だと大変、緊急時に消防のホースが通れるようにしたい。）
- ・水はけが悪い土なので、碎石を敷いたり側溝を整備したりと排水対策が必須になる。
- ・雨で境界が流出しないように、敷地の境界が分かるようにする。
- ・みんなが4軒面している人じゃなく、みんなで管理していくことが大切。
- ・歩いていて気持ちいい空間にしたい。

【仕上げ材】

- ・アスファルト→歩きやすい。/雪かきしやすい。
現在のよう一部なら大丈夫。
透水性が無く、雨水が敷地に入ってくるのでは。
両脇に碎石を置く必要があるのではないかな。
日差しの照り返しが大きい。
- ・雨水対策として、コルクチップなどで舗装するのはどうか。
- ・たいていは歩くかカートを押すので、砂利敷きはダメ。
- ・管理としては、部分的に芝なら今までのようにみんなで管理する。
- ・歩きやすさ、つまずきに気を考慮したら天然石はダメ。
- ・見た目を良くするために植栽が欲しい。
- ・冬の凍結を考えると、滑りにくいものが良い。



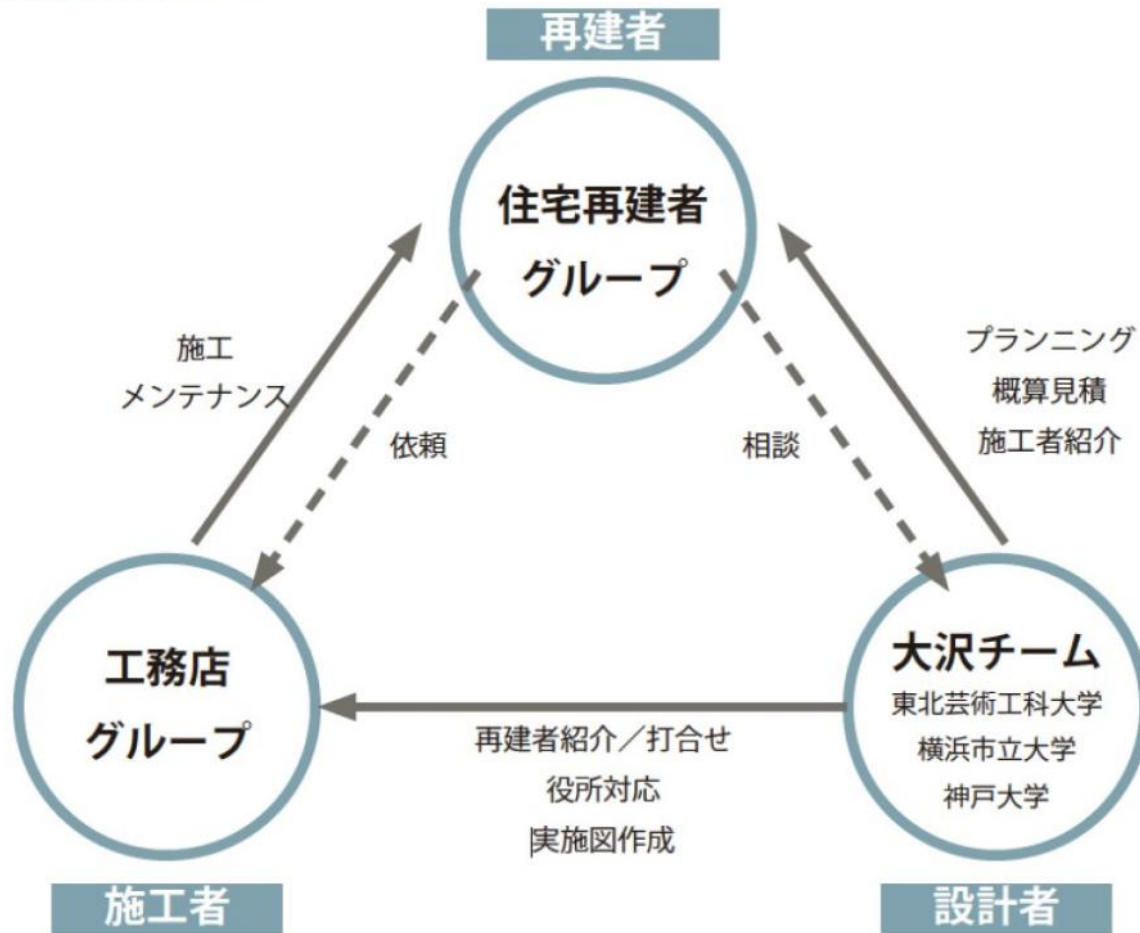
住宅相談会から共同発注方式へ

2013年10月より、住宅相談会開始
共同発注方式による住宅建設方法の採用



住宅相談会 防災集団移転復興住宅のための共同購入システム

■共同購入のシステム



共同購入の工務店について

■工務店の選び方について

- A: 8 件同じ工務店にお願いする
- B: 間取り終了の方で一つの工務店
間取り未収の方で一つの工務店
- C: 参加者でお願いしたい工務店のグループを組む

■流れについて

- A: 間取り終了の方で一齐に着工
間取り未終了の方で着工
- B: 2 グループ作成し、工期のみ 2 期に分ける

住宅再建後の街並み



多様な復興支援メニュー

- 1 かえっぺす大沢さ
- 2 新たな生活の場づくり
- 3 集落空間の再編
- 4 コミュニティ拠点づくり
- 5 復興情報の共有
- 6 学生による交流活性化
- 7 高齢者にも優しい地区へ
- 8 地域の記憶の保存
- 9 学びあいの場としての地域
- 10 新しい絆の創造

防災集団移転 – 大沢みらい集会
造成計画・住宅再建支援

防潮堤・低平地 – まちづくり会議

大沢カフェ

大沢復興ニュース

大沢カエル教室

買い物弱者支援

大沢読本・模型・定点写真

9 学年で150人の学生

大沢クラブサポーター制度

第1回大沢まちづくり会議

第11回大沢みらい集会 2012/8/26

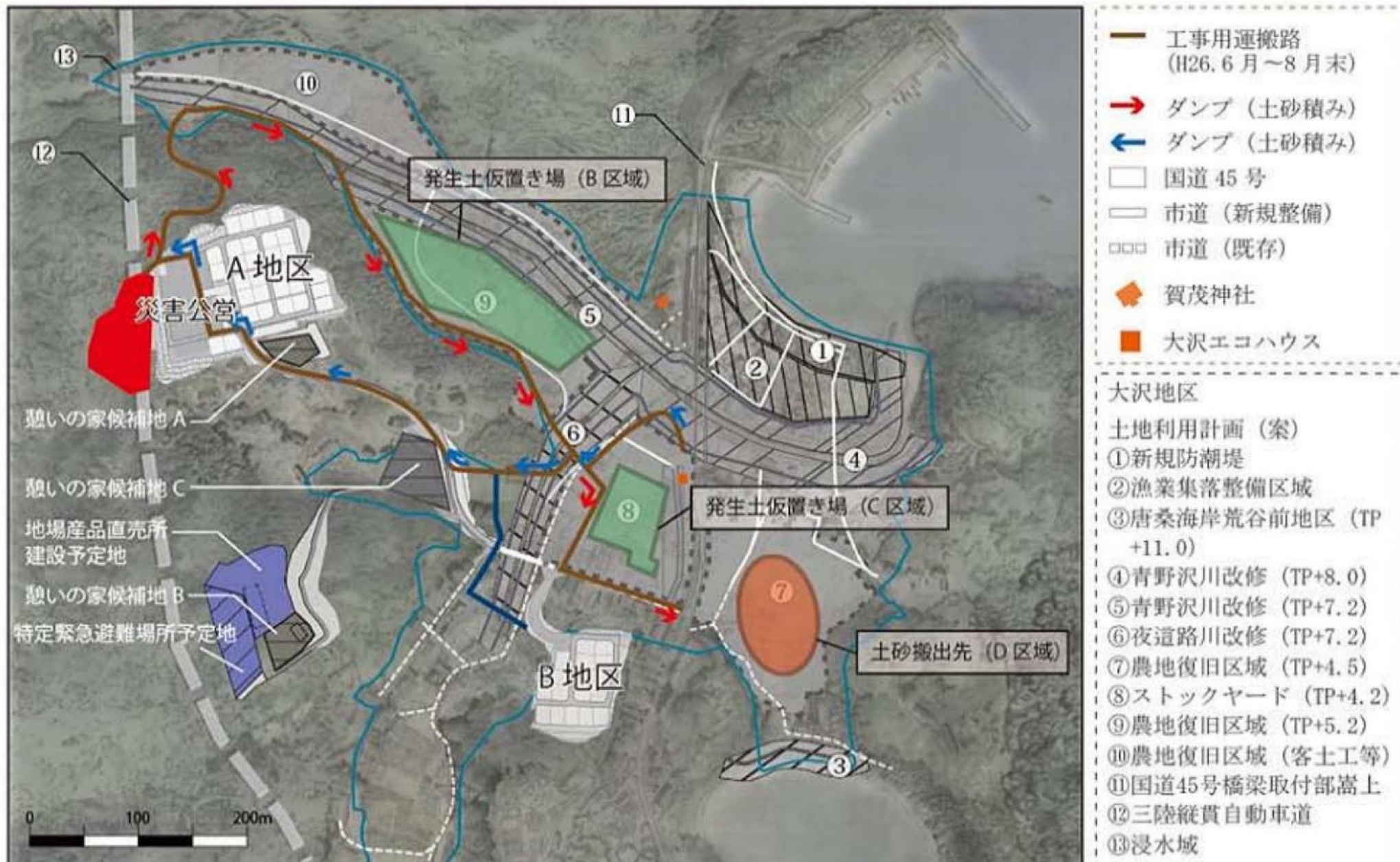
参加住民：
大沢地区住民69人

内容：

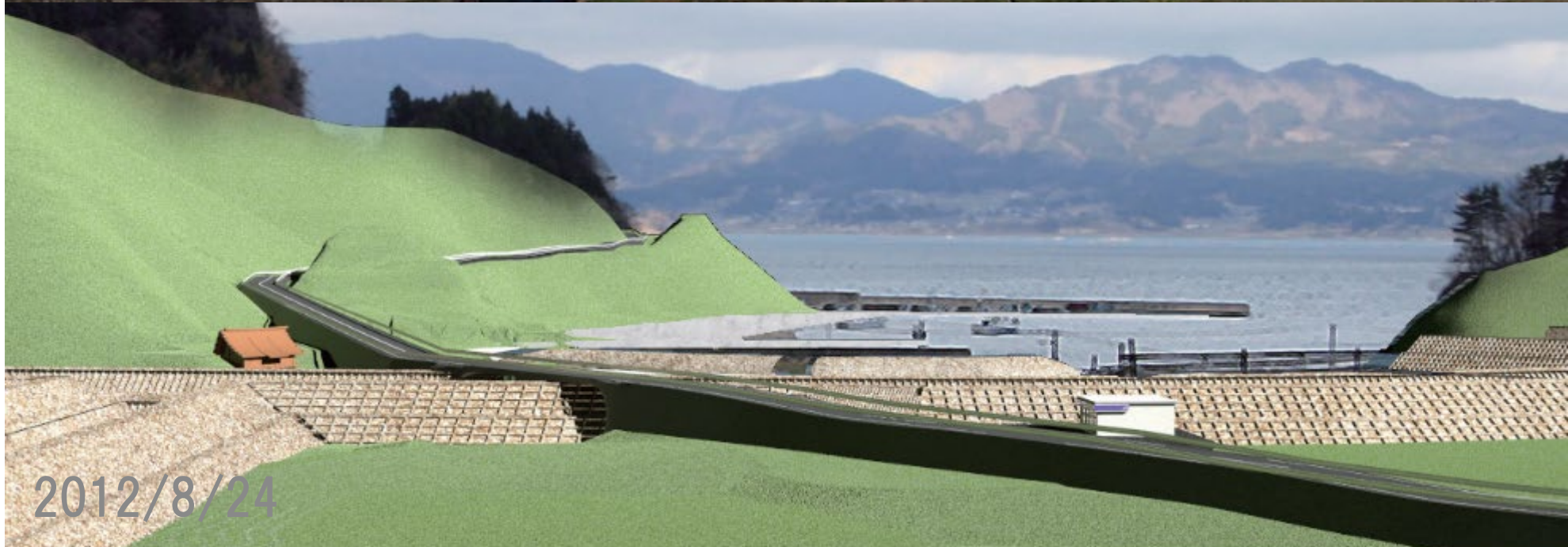
- 堤防・防潮堤について
- 浸水域の土地利用について
- 住宅のルールづくりに向けて



地区の復旧・復興事業



C Gの作成



2012/8/24

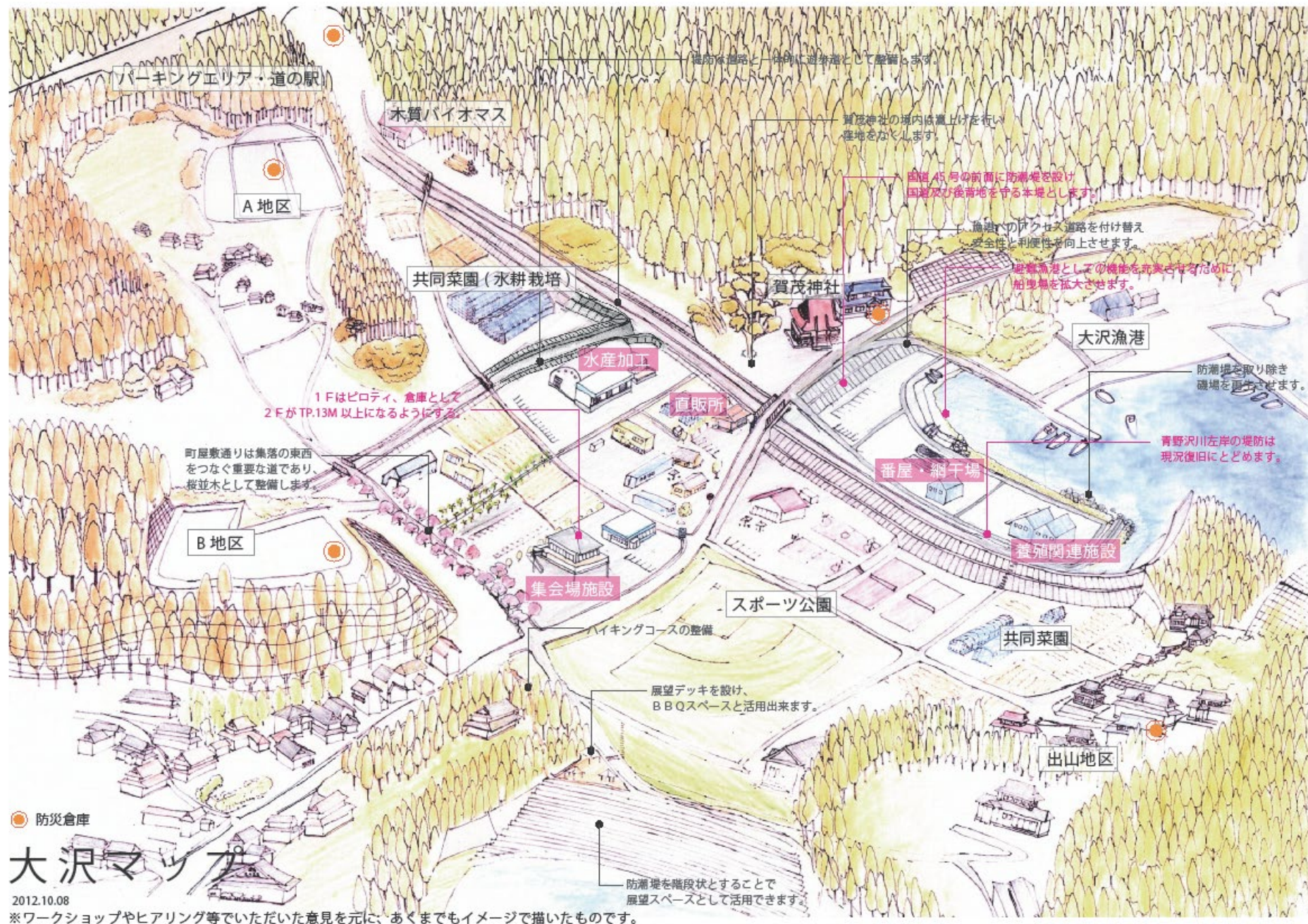
防潮堤の高さ・傾斜を体感



2012/8/24

浸水区域の 活用イメージ案

2012年10月8日



多様な復興支援メニュー

- 1 かえっぺす大沢さ
- 2 新たな生活の場づくり
- 3 集落空間の再編
- 4 コミュニティ拠点づくり
- 5 復興情報の共有
- 6 学生による交流活性化
- 7 高齢者にも優しい地区へ
- 8 地域の記憶の保存
- 9 学びあいの場としての地域
- 10 新しい絆の創造

防災集団移転 – 大沢みらい集会
造成計画・住宅再建支援
防潮堤・低平地 – まちづくり会議
大沢カフェ
大沢復興ニュース
大沢カエル教室
買い物弱者支援
大沢読本・模型・定点写真
9 学年で150人の学生
大沢クラブサポーター制度

大沢カフェ（Ⅰ期）の建設（2013年12月15日）



学生・住民参加による建設





大沢カフェ（Ⅱ期）の建設（2019年6月）

- ・ 国道工事による移転
- ・ 地域の交流拠点へ



多様な復興支援メニュー

- 1 かえっぺす大沢さ
- 2 新たな生活の場づくり
- 3 集落空間の再編
- 4 コミュニティ拠点づくり
- 5 復興情報の共有
- 6 学生による交流活性化
- 7 高齢者にも優しい地区へ
- 8 地域の記憶の保存
- 9 学びあいの場としての地域
- 10 新しい絆の創造

防災集団移転 – 大沢みらい集会
造成計画・住宅再建支援
防潮堤・低平地 – まちづくり会議
大沢カフェ
大沢復興ニュース
大沢カエル教室
買い物弱者支援
大沢読本・模型・定点写真
9 学年で150人の学生
大沢クラブサポーター制度

復興情報誌の発行

学生による編集

2013年11月から現在まで
通算40号発行

大沢復興ニュース

06

2014.4.23
発行

Thinking about our future...



ごあいさつ 06

東北芸術工科大学
渡部 桂 准教授

草木生が動き出す季節になりました。大沢の復興事業も一層加速して行くものと思います。さて、不易流行とは、事物には時と共に変わるものと変わらないものがあるということです。まちづくりに不易流行があるの

ではないでしょうか。変わらないもの、変わってはいけないものが大沢らしさ、その魂の上で変わって行くものが流行です。では大沢らしさとは何か。それを皆さんにお尋ねするのは野暮です。豊かな自然、祭り、街並み、道端で子供が遊ぶ姿、匂の味、そして強い絆、大沢をかたちづくるもの全てです。それらが一体となって大沢らしい風景として見えていたのではないのでしょうか。これからできる新しい大沢の姿も最初は見新しさが目立ちますが、皆さんと

共に時を重ね、魂が込められてゆくことで歴史になって行きます。皆さん一人一人が大沢の風景の一部です。それぞれの思いと声をまちづくりに届けてくださいますようお願いいたします。



No.01

第 11 回大沢まちづくり会議

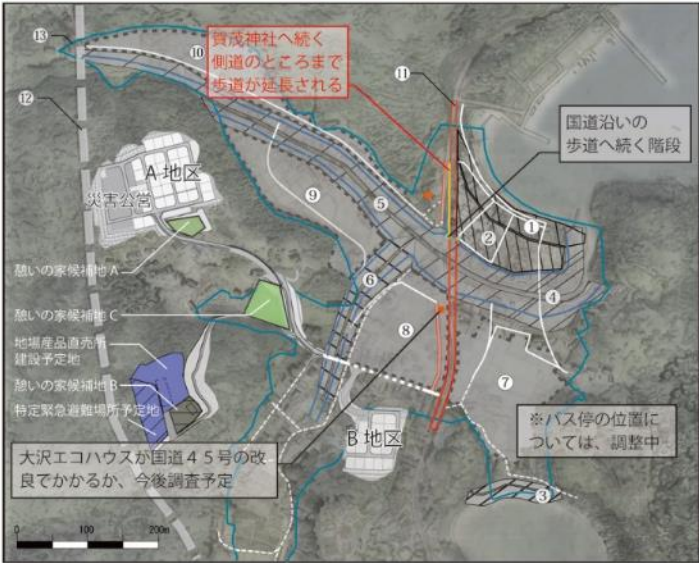
大沢復興マップ

大沢のイマー

大沢復興マップでは、大沢地区における復興計画の現状を地図と共に毎月お知らせしています。

今月のお知らせ

- ・ 憩いの家の再建候補地アンケートの結果報告がありました。
- ・ 3月24日に国土交通省より国道45号の大沢地区の改良計画について説明がありました。
- ・ 2月23日のまちづくり会議をうけ、国道沿いの歩道が賀茂神社のところまで延長されました。



国道45号改修工事
関連道路

歩道延長分

国道45号

市道（新規整備）

市道（既存）

河川管理用道路

賀茂神社

大沢エコハウス

大沢地区関連事業計画

- ①新規防潮堤（TP+8.0）
- ②漁業集落整備区域（TP+7.3）
- ③唐桑海岸荒谷前地区（TP+11.0）
- ④青野沢川堤防（TP+8.0）
- ⑤青野沢川堤防（TP+7.2）
- ⑥夜道路川堤防（TP+7.2）
- ⑦農地復旧区域（TP+4.5）
- ⑧ストックヤード（TP+4.2）
- ⑨農地復旧区域（TP+5.2）
- ⑩農地復旧区域（客土工等）
- ⑪国道45号橋梁取付部嵩上
- ⑫三陸沿岸道路
- ⑬浸水域

大沢エコハウスが国道45号の改良でかかるか、今後調査予定

※バス停の位置については、調整中

※2014年3月24日の説明会を基に、製図のみらい設計大沢チームが作成致しました。中詳細は大沢復興ニュース06を参照してください。中左図は計画案ですので、決定したものではありません。

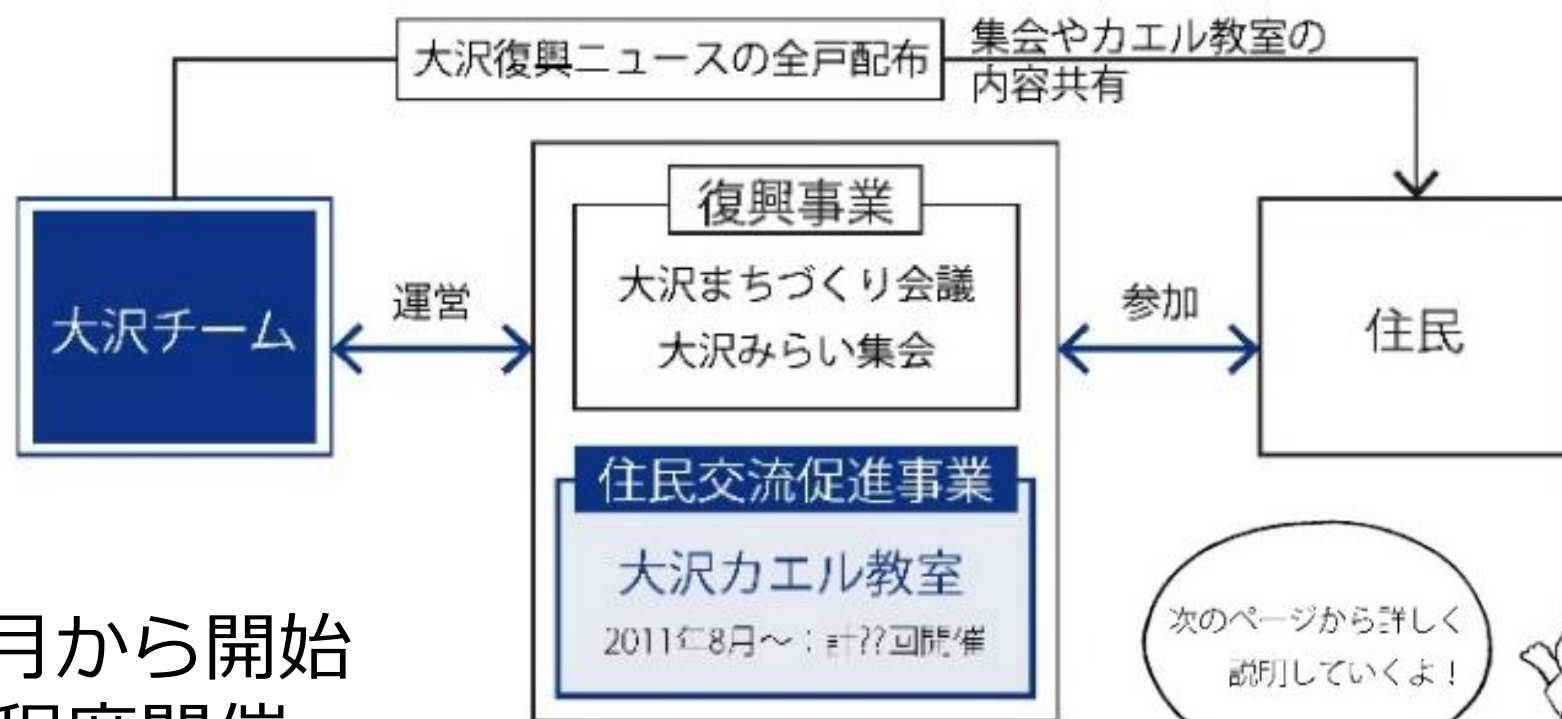
多様な復興支援メニュー

- 1 かえっぺす大沢さ
- 2 新たな生活の場づくり
- 3 集落空間の再編
- 4 コミュニティ拠点づくり
- 5 復興情報の共有
- 6 学生による交流活性化
- 7 高齢者にも優しい地区へ
- 8 地域の記憶の保存
- 9 学びあいの場としての地域
- 10 新しい絆の創造

防災集団移転 – 大沢みらい集会
造成計画・住宅再建支援
防潮堤・低平地 – まちづくり会議
大沢カフェ
大沢復興ニュース
大沢カエル教室
買い物弱者支援
大沢読本・模型・定点写真
9 学年で150人の学生
大沢クラブサポーター制度

大沢カエル教室

「大沢にカエル(帰る)・大沢をカエル(変える)」を合い言葉に大沢カエル教室というワークショップを継続的に開催し、住民の活動と交流の場を設けている。



- ・ 2014年6月から開始
- ・ 通算30回程度開催

次のページから詳しく説明していくよ！





地域の伝統・慣習 の継承と発展

地域の伝統を知る住民、技術を持つ住民が減りつつある中、古くからの大沢の伝統・慣習を口で見て、聞いて、触って、自分の手で作ることで楽しく学び、地域の歴史的な魅力を再確認する。そして地域の文化に親しみをもつことで後世への伝統・慣習の継承へとつなげることを目的としている。

▼ 花っこ作り



▼ 大沢のいいとこ灯笼作り



▼ 屋号キーホルダー作り



▼ 貝殻で常夜灯作り



▼ 和泉さんに学ぶしめ縄作り



▼ 竹灯笼作り



▼ 和泉さんに学ぶしめ縄作り2



新たな魅力 の創出

住民同士の交流のきっかけとなるような設備、高台移転先の生活を豊かにするもの、大沢の口印となり外部へのアピールとなるような国道沿いのアイストップなどを作る。町に新たな活気を生み出し、そしてその活気と魅力を外部にも発信していくことを目的としている。

▼ ピザ窯作り



▼ ベンチ作り



▼ 大沢カフェ模擬営業



▼ OSAWA コンテナアート



▼ OSAWA 看板作り



▼ コンテナ黒板作り



▼ 高台移転地に桜を植樹



自分の手を動かして
伝統を学ぶのは
とっても楽しいな！



素敵な
看板が完成！



多様な復興支援メニュー

- 1 かえっぺす大沢さ
- 2 新たな生活の場づくり
- 3 集落空間の再編
- 4 コミュニティ拠点づくり
- 5 復興情報の共有
- 6 学生による交流活性化
- 7 高齢者にも優しい地区へ
- 8 地域の記憶の保存
- 9 学びあいの場としての地域
- 10 新しい絆の創造

防災集団移転 – 大沢みらい集会
造成計画・住宅再建支援
防潮堤・低平地 – まちづくり会議
大沢カフェ
大沢復興ニュース
大沢カエル教室
買い物弱者支援
大沢読本・模型・定点写真
9 学年で150人の学生
大沢クラブサポーター制度

買い物拠点設置の実験 —大沢メルカート

- ・ 地区内で取れたものを地区内で提供
- ・ 住民が出展者
- ・ 月に1回程度の開催

—2019年6月から開始



からくわ夕市がやってくる！

2019.6.29(土) 【会場】 大沢カフェ
【時間】 10:00～14:00

メルカート

からくわ夕市 / cafe たんぼぼ / S.kitchen / 朝どり鮮魚（当日の水揚げによります）
大沢カフェで開催する市場（メルカート）。
タピオカやかわいい雑貨など、心躍る出会いがいっぱいです。
趣味で作っている作品などの出店をしてみたい方もぜひご参加ください。
※出店料：1組 500円～1,000円任意でいただきます。

ワークショップ

完成したピザ窯を使った料理 / 大沢カフェのインテリア作りなど

アンケート

今後大沢カフェ周辺でどんなことをしてみたいかのアンケート調査

お問い合わせ：tomobuchiken@gmail.com メルカートに出店したい方大募集！！
興味のある方は左記連絡先までご連絡ください。

大沢メルカート



多様な復興支援メニュー

- 1 かえっぺす大沢さ
- 2 新たな生活の場づくり
- 3 集落空間の再編
- 4 コミュニティ拠点づくり
- 5 復興情報の共有
- 6 学生による交流活性化
- 7 高齢者にも優しい地区へ
- 8 **地域の記憶の保存**
- 9 学びあいの場としての地域
- 10 新しい絆の創造

防災集団移転 – 大沢みらい集会
造成計画・住宅再建支援
防潮堤・低平地 – まちづくり会議
大沢カフェ
大沢復興ニュース
大沢カエル教室
買い物弱者支援
大沢読本・模型・定点写真
9 学年で150人の学生
大沢クラブサポーター制度

旧小原木村間の連携に向けた取り組み



- ・ 2014年から定点の記録開始
- ・ 学生発案の自主企画



【開催日程】 2020年 ~~3/13~~_{3/14(土)} 金 - 3/15 日

【会場】大沢カフェ（唐桑町荒谷前 153 付近）

【 入場料 】 無料

■AM 9:00～PM 5:00 (3/15 (日) はPM 8:00まで)

主催：大沢まちづくり協議会
1日班：PM1:00-PM5:00
2日班：AM9:00-PM4:00

お問い合わせ: chiaki.larchkobe@gmail.com (神戸大学 山田 千樹)

九州・四国の橋下を橋し結ぶために、2013年10月から2019年3月までは九州・四国にアズムルで人の往来を完全無断にしました。約1万人が来たりきたり、改めて九州の州境を知り返るためにぜひお話を聞きたいとします。ぜひお越しください。

多様な復興支援メニュー

- 1 かえっぺす大沢さ
- 2 新たな生活の場づくり
- 3 集落空間の再編
- 4 コミュニティ拠点づくり
- 5 復興情報の共有
- 6 学生による交流活性化
- 7 高齢者にも優しい地区へ
- 8 地域の記憶の保存
- 9 **学びあいの場としての地域**
- 10 新しい絆の創造

防災集団移転 – 大沢みらい集会
造成計画・住宅再建支援
防潮堤・低平地 – まちづくり会議
大沢カフェ
大沢復興ニュース
大沢カエル教室
買い物弱者支援
大沢読本・模型・定点写真
9 学年で150人の学生
大沢クラブサポーター制度

学生による学びの場の提供

- 学生が子供たちと地域についての学びの場を開催



住民主催の卒業式

住民主催の卒業式

- ・活動に関わった学生への卒業証書授与
- ・活動に関わった学生 150人以上
- ・卒業後は大沢クラブへの加入



多様な復興支援メニュー

- 1 かえっぺす大沢さ
- 2 新たな生活の場づくり
- 3 集落空間の再編
- 4 コミュニティ拠点づくり
- 5 復興情報の共有
- 6 学生による交流活性化
- 7 高齢者にも優しい地区へ
- 8 地域の記憶の保存
- 9 学びあいの場としての地域
- 10 **新しい絆の創造**

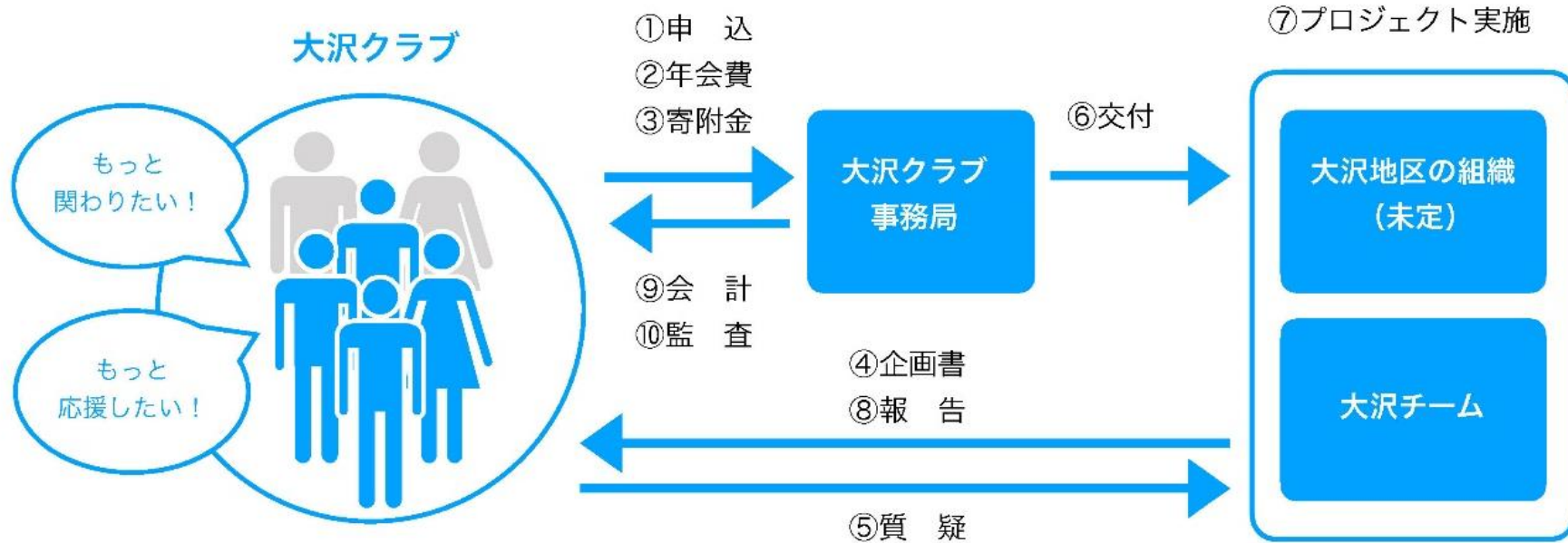
防災集団移転 – 大沢みらい集会
造成計画・住宅再建支援
防潮堤・低平地 – まちづくり会議
大沢カフェ
大沢復興ニュース
大沢カエル教室
買い物弱者支援
大沢読本・模型・定点写真
9 学年で150人の学生
大沢クラブサポーター制度

大沢クラブ サポーター制度 提案書

2019.1.19

大沢クラブ

大沢地区に関わり続けるために



▲大沢クラブサポーター制度のイメージ図

- ・ 就職後も地域と関わりたいOB・OG多数
- ・ 地区外から関わり続けることのできる仕組みを考案
- ・ 大沢クラブの枠組みを活用